

# 躍

# 進

1年  
学年だより

No.11

令和7年10月7日  
かほく市立高松中学校  
校長 塚田 秀和  
学年主任 上谷 由喜

## 新しい組織で後期がスタート!!

いよいよ後期が始まりました。後期は、秋から冬にかけて力を蓄えて、春からの飛躍に備える時です。自分に厳しく頑張った人には、立派な結果がついてきます。後期のスタートに当たり、さらなるがんばりを期待しています。また、後期の生徒会や学級役員、係の活動もスタートしました。新たな気持ちで仕事に頑張って欲しいと思います。

1年生のプロ委はほとんど新メンバーで組織され、1年学年団を牽引すべく決意をもって取り組んでくれるでしょう。

### 新たな挑戦へ！<後期学年プロ委の意気込み！>

#### 1組学級代表 竹中 咲人

後期プロ委では、コミュニケーション能力を高めることを頑張りたいと思っています。そして一組では、授業での話し合いなどを活かして一人ぼっちの人をなくせるような活動をしたいです。また一組には、注意を受けてもまた同じことをやってしまう人がいる。そういう人もなくしたいと思っています。僕は、一年一組を団結力のある仲間思いなクラスにしたいと思っています。

#### 1組学級代表 那波 華音

後期プロ委として、みんなと楽しく学校生活を送れるように頑張りたいです。そこで私は、学校行事や普段の学校生活で、クラス全員が協力して楽しく過ごせるように、一人一人に心を配ります。また、困っている人がいたらその人に気づいて助けてあげられるようにしたいです。誰もが安心して過ごせて「このクラスで良かったな」と思えるような温かい雰囲気を作りたいです。クラスみんなで明るく楽しいクラスにしていきたいと思います。

#### 1組書記 櫻井 紗人

後期プロ委で僕は、学年や学級をまとめ、より良くするために、新しい制度のようなものを作りたいです。例えば、イエローカードとレッドカードを作り、度が過ぎている人に出すなどしていきたいです。1の1はよく喧嘩をして周りの人を巻き込むことがあるのでそれを阻止していきたいです。あと喧嘩自体もあまり起きないようみんなが仲良く勉強できる環境を作りたいと思います。あと、失敗を恐れず何事にもチャレンジして、学年、学級をより良くしていきたいです。

#### 1組書記 黒川 陽莉

私が頑張りたいことは、自分をクラスのみんなが投票で選んでくれたから、その期待に応えられるようにすることです。学年全体をより良くできるように、まずは、自分のクラスに焦点を当てていきたいなと思います。私のクラスでは、たまに小さな衝突が起るので、アンケートにして、自分にされた嫌なことを答えてもらいます。そして今、高松小学校ではその人が嫌だと思ったら、どんなに小さなことでもいじめに値するという制度があるらしいです。私のクラスでもそれを取り入れていきたいなと思います。これで、嫌な思いをする人がいないような学年になっていけばいいなと思います。

#### 2組学級代表 鶴見 楓斗

後期プログラム委員会では、一年二組を明るく楽しいクラスにするのはもちろん学年全体も、まとめられるようにコミュニケーションを高めたり自分から積極的に活動に参加していきたいです。そのため失敗を恐れず、勇気を持って挑戦します。みんなから信頼されるような学級代表になれるようにみんなを支えていきたいし、クラスのみんなの意見をアンケートなどで聞いて少しでも一番いいクラスに近づけられるように頑張りたいです。

## 2組学級代表 藤原 朝美

私はプロ委として、2組だけでなく1年生全体を引っ張っていけるように精進していきたいです。今まで、私は1つの失敗をするする引きずって落ち込むことが多かったので、これからは失敗を糧に日々力をつけられるよう頑張ります。また、学年全体からの信用を失わないためにもいろいろなことにチャレンジして、成果をあげられるようにしたいです。そして、前期プロ委の人の意見も参考にしながら後期プロ委を進めていけるようになります。

## 2組書記 谷口 達哉

後期プログラム委員会では、書記として学年代表のサポートをしたりするのはもちろん、クラスだけでなく学年全体も楽しめ、まとめられるようにしたいです。そのために、学年全体の意見を聞くことや自分から積極的にチャレンジできるようになります。自分は、一学期に失敗を恐れてあまりチャレンジなどをしてこなかったので後期では失敗をしてもいいから、まずはチャレンジをしようという気持ちでこれからプロ委としてがんばっていきたいです。

## 2組書記 平居 加帆

後期では、前期で足りていなかった部分をしっかり改善して、クラスを引っ張っていけるように頑張ります。また、クラスからの信頼を得るために、アンケートなどで得た意見などをしっかり反映して過ごしやすいクラスをつくれるようにしたいです。また、行事があったときに、自分から積極的に動き、みんなのお手本になれるように取り組みたいです。そのために、普段の生活での声掛けや身の回りのことからしっかりしていきたいです。自分からクラスに呼びかけ、全員が協力し成長できる良いクラスにできるよう頑張ります。

## 3組学級代表 畠中 太一

僕は、学級代表に自ら立候補してクラスのみんなからの投票もあって学級代表になっているから自分でも終わったあとに納得できる行動をしたいし、投票してくれたみんなの信頼を裏切らないように頑張りたいです。具体的には、講師の方々が来てくださったときの司会進行や前に出てお手本になれるようなことをしたいです。日常生活でもプロ委らしくクラスの良い手本になれるように頑張りたいです。その中でも周りと同じことをしていても目立たないから、周りと違うよりプラスになることや周り以上のことをしていきたいです。

## 3組学級代表 櫻井 弓月

後期プロ委では、コミュニケーション力がとても必要で、みんなのお手本となれるように、その力を普段から高めていきたい。そして、学校生活を送る環境がよくなるように、自分のことはもちろん、周りのことにもしっかりと気を配りたい。自分から何事も積極的に取り組み、先生になにか言われる前に自分で気づいて行動をしたい。まずは学級からいい環境になるように、みんなの意見を尊重し、まとめて行動に移していきたい。そして学校全体の生徒議会でも、意見を積極的に出したい。そして、取り組みについても、時、場、礼についてだけでなく、前期よりもレベルアップしたものにしていきたいと思う。先生方や学校のみんなに頼られるような学年代表になりたい。

## 3組書記 釜井 陽向

後期プロ委では、様々な場面で重要なってくるコミュニケーション能力をみんなのお手本になるようにしっかりと伸ばしたいです。また、人の意見を取り入れる大切さも1学期に学ぶことができたので、それもコミュニケーション能力と組み合わせて、有効に活用できるようにしたいです。それに、学級代表のサポート、自分が前に出て進める、というときもあると思うので、みんなをまとめて引っ張るという力もつけていきたいです。

## 3組書記 二口 楓寧

後期プロ委では、学級代表や委員長、副委員長に任せずに自分がやると決めたことは、責任をもってやり遂げることが大切だし、FTなどの行事には学年やクラスをまとめられるようにしたいです。のために、周りを見て行動し声かけをしっかりしていきたいです。前期のプロ委を見習って活動ごともしっかりと行ったり、サポートできるようにしたいです。

<合唱コンクールを成功させよう！>

### 1組 2組 3組 ガチ

響かせよう  
絆のメロディ  
~団結力のある  
クラスにしよう~

一体感を持って  
全力を尽くそう  
~Heartに響く  
歌を歌え！~

やるなら本氣で  
~中途半端な  
努力はいらぬ~

10月のプロ委の取り組みは、「合唱コンクールを成功させよう！」です。各クラスでそれぞれ目標を立てました。プロ委やパーティーリーダーが中心となって練習を開始しています。10月31日（金）の学習成果発表会では、素敵なお歌と団結力を見せて貰えると思います。



# 前期学年プロ委に大きな拍手を！《前期学年プロ委メンバーの振り返り》

## 1組学級代表 岡田 勝

自分は前期プロ委として、やらなければならないことをみんなに声掛けをすることができました。学年目標や学年の取り組みを意識しながら過ごすことができました。中学校に入って初めてあった人もいたけれど関係なく接することができたのが良かったです。周りを見るができるようになったので良かったです。後期はプログラム委員ではなくなるけれど、前期で培ったこの経験を活かして後期のプログラム委員のサポートなどをして良いクラスになるように協力していきたいです。

## 1組学級代表 香林 茉優

私は前期プロ委では責任感を持って仕事に取り組めるようになりました。それに、もともと違う小学校で喋ったことがない人もいたけど、そういう人にも勇気を持って声掛けができるようになりました。そして、みんなから信頼を得られてまたプロ委に入れるように、やりたいことをちゃんと行動に移して後期は前期より精一杯声掛けなどをやっていきます。

## 1組書記 柳原 快翔

僕はこれから、責任感ある行動をするように心がけようと思いました。プログラム委員会に入った頃は先生から信頼をもらおうとカレー作りの時に自分にしかできないことを探して、行動したり、自分から声をかけたりと、行動に移しました。けれど、自分のことが疎かになったり、自分の気の緩みからルールを破るようなことをしていました。この経験から、自分はクラスのことも考えながら、自分のことも完璧にこなす人になります。

## 1組書記 丸岡 夕夏

私が前期プロ委として、一番成長したと思うのは、周りを見て行動できるようになったことです。司会や進行をするのは得意ではないけど、自分ができることを考えて動いたり学級代表が頑張っていることをサポートしたりして、自分なりに頑張れたなと思います。後期は、今までの経験を生かして後期プロ委をサポートできるようにしたいです。

## 2組学級代表 金谷 虹希

僕が前期学級代表になり成長したと感じたことは、自分から行動、周りを見る力です。最初は、プログラム委員になり本当に自分がプログラム委員になってよかったです。と自分を疑ったり人前にでて発表したりすることを避けていたけれど、学年目標にもある自分から挑戦をし自分自身に自信を持ち行動することで、自分に自信を持ちさらには人のために学級のためにプログラム委員として働く事ができました。後期は、プログラム委員ではないけれど学級代表をして経験したこと得たことを次の委員会に活かしました人の役に立ちたいです。

## 2組学級代表 平居 加帆

半年間を振り返ると、イベントで内容を決める司会やプロ委での係などでみんなの意見を聞き、それに沿って進めていく難しさや大切さを学びました。また、アンケートをとってみると、クラスの中で誰がどんな不満を持っているのか、クラスに対して思っていることなどの意見がわかり、それについての声掛けができました。クラス全体の状況を見れていなくて、先生に言われるまで気づかなかったので、そんなことがないように今まで以上に周りのことをみて行動していきたいです。

## 2組書記 林 孝弥

4月の始まりはまだ違う小学校の人達とで戸惑うこともあり、前期の前半はあまり人のために行動することもできなかったが、後半は運動会の練習などで声掛けなどをすることができた。またこのプログラム委員会としての生活で、今まででは騒いでうるさいばかりでクラスに呼びかけなどはあまりできなかったが、みんな（クラスや学年）のまえで発言することなどができるようになった。後期は専門委員会ではないがクラスや学年のためになることをがんばっていきたい。

## 2組書記 岡田 花凜

私は、前期のプロ委を通して、クラスのために声掛けをしたり、仕事を忘れずにこなしたり、周りを見て積極的に行動したりすることの大切さを知りました。クラスへの声掛けは、最初と比べたら自信をもって出来るようになりました。でも周りを見て行動する事がまだまだ出来ていないので、後期は、細かいところまで気づいて行動するように心がけたいです。

## 3組学級代表 釜井 阳向

プロ委に入ってみんなの意見を取り入れる力とそれが、どれほど大事か、を身につけることができました。物事を進めるときには、他の人からのなくせる不満、なくせない不満がありました。それを、深く聞いて取り入れる。これをしたらほとんどの人がいい気持ちで物事を進めっていました。プロ委では、進めるのはもちろん、みんなをいい気持ちにするのも大切だと学ぶことができました。

### 3組学級代表 櫻井 弓月

私はみんながやらなければいけないことが抜けていたら声をかけることができました。例えば、時や場、礼やみんなに関わる大事なことなどです。そして、先生に頼られたときにやるべきことをこなすことができたし、失敗したことがあったけど、その失敗を取り返すために自分から周りを見て行動できました。次のプロ委では、もっと先生からもみんなからも頼られるように、言われた仕事を完璧にこなして、先生に言われる前に自分から行動できるようにしたいです。

### 3組書記 春田 亮晴

僕はプロ委で信頼される大切さやみんなに声を掛けるなど気持ちがつきました。最初はみんなのことや、自分のこともままならずに過ごしていました。でもみんなといっしょに生活しているうちに声掛けする気持ちやみんなのために動く事ができてきました。これからはプロ委での経験を活かしてのちの委員会を頑張ります。

### 3組書記 水田 優子

私はプロ委になって、少し前に出ることができますようになりました。みんなに信頼されている人は、自分のこともクラスのことも全部やっている人がなれるんだとわかりました。小さなこともクラスのみんなは見てる。なので、生活面から直して信用してもらえるようにしたいです。そして後期の委員会も頑張りたいです。

## 1年生の挑戦！パワー全開！フェスティバルで輝きます！

10月25日（土）・26日（日）に開催される「かほく市生涯学習フェスティバル」に、1年生が出店・出展します。1学期から時間をかけて準備してきたプロジェクトの成果を、地域の皆さんにご覧いただける貴重な機会です。

また、10月4日（土）には、24名の生徒が「かほっくり（※さつまいも）」の収穫体験に参加しました。土の感触を味わいながら、自分たちの手で収穫することで、地域の自然や農産物への関心を深めることができました。最近では、自分のプロジェクトに取り組むだけでなく、友達の活動を応援し、支え合う姿も多く見られるようになり、とても嬉しく感じています。子どもたちの成長を感じる毎日です。当日は、子どもたちが力を合わせ、元気いっぱい活動に取り組む予定です。ぜひ会場へ足をお運びいただき、応援していただければと思います。

最後になりますが、収穫体験をはじめ、日々の活動へのご理解とご協力、また送迎などにご協力いただきました保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。



10月5日（日）  
北國新聞 →

